

# 河越館跡周辺を歩く

歩行距離 約9.6km  
 所要時間 約3時間12分  
 施設の見学時間は含まません

霞ヶ関駅、河越館跡を中心とした、その周辺に点在する名刹、史跡などをめぐってこの地の歴史を  
 探訪するコースです。

シーズン：通年  
 移動手段：徒歩

## 8 上戸日枝神社



平安時代初期に元日吉山王権現として建立、12世紀に河越氏が京都日吉社に領地を寄進した結果、新日吉社が分祀され、明治の神仏分離令により「日枝神社」と名を変えました。室町時代製作の銅造三尊懸仏が祀られていて、総鎮守として信仰を集めています。

## 7 鯨井のヒラギ



八坂神社の県道沿いに立っています。樹高は約10m、かなりの古木で幹の部分が空洞になっています。昭和33年(1958)に川越市から天然記念物に指定されました。

## 1 法城寺



曹洞宗の寺院で、十一面観世音菩薩が本尊となっています。今は残っていませんが、以前は三芳野塚という円墳の前にありました。

## 2 牛塚古墳



的場古墳群のひとつで、入間川流域では最大の前方後円墳です。その名は牛が寝ているような姿に見える事に由来します。石室を重ねた重葬形式の埋葬法が特徴的です。

## 1 三芳野天神社



平安末期頃に創立された神社で、菅原道真が祀られています。ご神体は中世の一時期、川越城中に移されましたが、1620年に再び元の地に戻り、学問の神様として信仰を集めました。

## 1 法城寺・三芳野天神社



このコースのスタート地点として、法城寺と三芳野天神社を巡ります。

## 7 鯨井のヒラギ



道が狭く車に注意しましょう  
 コンビニ案内版を右に入ります

## 8 上戸日枝神社



## 6 河越館跡



河越氏の居館の跡であり、鎌倉時代に幕府の武蔵国政府庁としても機能しました。土塁、堀が一部残るほか、井戸、住居などの遺構も検出され、昭和59年(1984)に国の史跡に指定されました。

## 5 旧東武鉄道入間川鉄橋跡



現在の鉄橋は昭和39年(1964)に架け替えられたものです。旧鉄橋の両側は深谷市で作られたという煉瓦の橋梁橋台で、かつての橋脚の基礎部分を見ることもできます。

## 4 駒形の一本松



初雁橋西側にある「駒形明神碑」は水の神を祀ったものとも言われています。その横に立つ一本の松は北条氏と戦った新田義貞が馬を繋いだという伝承があり、「駒つなぎの松」と呼ばれています。

## 5 旧東武鉄道入間川鉄橋跡



土境の上をサイクリングロードと並行して進みます

## 2 牛塚古墳



## 4 駒形の一本松



十字路を左折します

## 2 牛塚古墳



## 3 若宮八幡神社



的場の開発に関わった窪田家の屋敷神を現在地に移し、村社として祀ったのが始まりと言われています。本殿内の彫刻は見事で、神社そのものが市の有形文化財に指定されています。

二又を右へ入ります

## 3 若宮八幡神社



霞ヶ関駅	
約1km	徒歩約20分
1 法城寺・三芳野天神社	
約0.8km	徒歩約16分
2 牛塚古墳	
約1.9km	徒歩約38分
3 若宮八幡神社	
約2.2km	徒歩約44分
4 駒形の一本松	
約0.7km	徒歩約14分
5 旧東武鉄道入間川鉄橋跡	
約0.8km	徒歩約16分
6 河越館跡	
約0.8km	徒歩約16分
7 鯨井のヒラギ	
約0.7km	徒歩約14分
8 上戸日枝神社	
約0.7km	徒歩約14分
霞ヶ関駅	

西部エリアコース